

議会運営委員会

平成23年10月3～4日 福岡県田川市・春日市

【視察委員】
委員長 吉永 祐一
副委員長 木村 敏子
委員 島田 美津子
委員 松井 孝幸

委員長 来海 恵子
委員 坂本 正
委員 濱口 曉
委員 池永 幸生



田川市研修風景

議会運営及び議会基本条例等制定の経緯について先進地である福岡県田川市議会、春日市議会を10月3、4日の2日間にかけて視察研修いたしました。

10月3日 福岡県田川市

田川市は、人口、面積共に合志市と同規模の自治体であり、過去には、炭坑の街として栄えた経緯がありますが、近年は、高齢化と人口の減少が課題としてある中で、市議会においては、本年の改選で定数を2名減員され、また、議会基本条例を本年4月1日に施行するなど議会改革に取り組まれています。

特筆すべきは、インターネット（ライブ・録画）を利用した情報開示等でありました。

議会運営及び議会基本条例等制定の経緯について先進地である福岡県田川市議会、春日市議会を10月3、4日の2日間にかけて視察研修いたしました。



春日市研修風景

10月4日 福岡県春日市

春日市は、約14平方キロの面積に、10万人余りが居住する人口密集地域という特徴があり、市議会においては、平成21年に議会基本条例を制定し、22年には、議会報告会の開催や、本会議のケーブルテレビ中継が実施されていました。

合志市においては、議会活性化調査研究特別委員会を設置し検討中ですが、開かれた議会や情報公開、議会基本条例等踏み込んだ協議を行い、必要性和有効性の確認の下に市民と共に歩む事のできる議会改革が必要と感じられた研修でした。

健康福祉常任委員会

平成23年10月19～21日 埼玉県越谷市・小鹿野町・千葉県流山市

【視察委員】
委員長 来海 恵子
副委員長 坂本 正
委員 濱口 曉
委員 池永 幸生

10月19日 埼玉県越谷市

介護保険事業について

越谷市は人口32万人、高齢化率19・86％財政も豊かで、交通アクセスがよく人口が伸びています。介護保険料は2800円と全国的にも安いのは、財政も豊かですが基金の額が違い、また、施設に重点を置かず、介護認定の低さにあると思われま。一次予防による介護予防講習会、二次予防による「おたっしや教室」「元氣アップ教室」などに力を入れています。平成23年10月より介護ボランティア制度を始め、これは65歳以上の高齢者が介護保険等において行ったボランティア活動に対してポイントを与え、本人の申し出により、ためたポイントを転換交付金として本人へ交付するものです。



健康体操の様子

10月20日 埼玉県小鹿野町

高齢者福祉等について

小鹿野町は人口1万4千人高齢化率27％、一人当たり老人医療費は55万円で県平均77万円を大幅に下回っています。小鹿野モデルとして県が推進しています。昭和28

年から地道に保健師さんが全戸訪問健診で現状把握し、きめの細かい指導を行っています。他は何も特別なことはなく、バスの中であつた高齢者の方々は元気で月曜から金曜日までスケジュールが一杯で楽しく元気に充実した生活を送っておられ、これが「小鹿野モデル」だと思いました。

10月21日 千葉県流山市

子育て支援事業について

流山市は人口16万2千人で、平成17年につくばエクスプレスが開通し都心から40分の距離にあり人口の伸びが著しい。駅に併設するビルで「送迎保育ステーション事業」を行い、登録した会員が朝子どもを連れてくると1時間以内に市内の保育園に送り、夕方保育園に迎えに行き保護者が仕事の帰りに子どもを連れて帰るシステムです。また、仕事で遅くなったときのために20時まで延長保育もしており、きめ細やかなサービスで子育て世代に移住してもらい、市民税を増やすよう努めています。



保育事業説明

文教常任委員会

平成23年11月8～10日 東京都東村山市・八王子市・目黒区

【視察委員】
委員長 松井 美津子
副委員長 尾方 洋直
委員 丸内 三千代
委員 吉永 健一
委員 濱口 孝一郎

11月8日 東京都東村山市

「いのちと心の人権の森宣言」について

東村山市では、平成21年9月28日、国立療養所多磨全生園開設100周年の日に豊かな緑と人権の歴史を長く後世に伝えるため、「いのちと心の人権の森宣言」がおこなわれました。全生園の緑と史跡を残すため入所者自治会の寄付金と市財源による、人権の森構想推進基金が創設され、その基金で親しみやすい人権啓発マップを作成し市民への啓発に力を入れて取り組まれています。



「いのちと心の人権の森宣言」碑

11月9日 東京都八王子市

特別支援教育と不登校対策について

八王子市の取り組みとして巡回相談を市独自で実施しており、校内における児童生徒に対する支援

について臨床心理士等の資格を有する心理士、4名、研究主事3名の8名で業務に取り組んでいます。ユニークな取り組みとして特別支援に関して「就学支援シート」を作成し、保育園、幼稚園での生活や様子等を担任と保護者が書き込み小学校へ伝えていく方法も採用されており、担任と保護者の総合理解を図る取り組みがされていました。

高尾山学園は、平成16年様々な理由で学校に行けない、行かない児童生徒が通える学校として開設され、子ども達に自信を持たせるための教育がおこなわれ、不登校の子ども達も支援の仕方です、学校に通える事を学びました。

11月10日 東京都目黒区

ICT教育の取り組みについて

目黒区目黒中央中学校は、授業のシステムを教科センター方式にし、ICT機器の全教室の整備により、最先端のICT環境の中で授業がおこなわれています。



目黒中央中学校研修

議会活性化調査研究特別委員会の研修を行ないました。

平成23年10月27日

演題

「地方分権改革と議会」

熊本県立大学 総合管理学部教授 桑原 隆広氏

平成23年11月24日

演題

「議会基本条例と議会改革」

全国市議会議長会法制参事

廣瀬 和彦氏



11月24日 研修風景

今後、4つの小委員会に分かれテーマごとに検討を進めてまいります。